

第5号議案

広域機関主宰 電源接続案件募集プロセスにおける 入札対象工事の変更について（東北北部エリア） （案）

本機関は、電源接続案件募集プロセス（東北北部エリア）（以下、「本プロセス」という。）について、入札対象工事を見直したため、以下のとおり入札対象工事を決定する。

1. 入札対象工事について

（1） 決定する内容

	見直し前の内容	今回決定する内容
対策工事内容	<ul style="list-style-type: none">・ 500kV 出羽幹線新設 (先行事業者起因の工事を除く)・ 八幡変電所 500kV 昇圧・増設 (500/275kV 変圧器新設他)・ 500kV 河辺変電所新設 (先行事業者起因の工事を除く)・ 越後開閉所の 500kV 変電所化 他	<ul style="list-style-type: none">・ 500kV 出羽幹線新設 (先行事業者起因の工事を含む)・ 八幡変電所 500kV 新設 (500/154kV 変圧器新設他)・ 500kV 河辺変電所新設 (先行事業者起因の工事を含む)・ 越後開閉所の 500kV 変電所化 他
連系可能量	約 353 万 kW 程度	未定※
入札対象工事費 (税抜き)	約 1, 272 億円	約 1, 542 億円
工事完了予定時期 (本プロセス完了時から)	約 11～13 年後	約 11～13 年後

※ 今後、優先系統連系希望者を追加選定することで決定

（2） 見直しに至った経緯

本プロセスの入札対象工事は接続検討を経て2018年1月25日に決定した。その後、2019年4月に本プロセスが前提としている先行事業者が契約を取下げたことから、当該先行事業者の対策工事を本プロセスの入札対象工事に含めることとしたため、本プロセスの入札対象工事を見直した。

（3） 今後の予定

今回の入札対象工事の見直しにより追加で連系が可能となる容量に対して、2018年11月の優先系統連系希望者決定時に決定した系統連系順位に基づき、追加で優先系統連系希望者を選定する。

以上